

平成17年(2005年) 12月21日
 長野県企業局経営企画課
 担当 小出五郎・内堀 幸夫・柳沢由里
 026-235-7372(直通)
 026-232-0111(代表)内線3917
 026-234-8341(FAX)
 Email:keieikikaku@pref.nagano.jp

平成18年度当初予算の要求概要

企業局

企業局は、地方公営企業法に基づき予算の編成等を行っています。また、各事業にかかる経費は主に料金収入により賄っており、公表形式については一般会計と異なる点についてご了承願います。

1 要求総額

(1) 収益的収支

収益的収支は、主に営業活動に係る収入及び支出を表します。
 また、支出額には減価償却費等現金支出を伴わない支出を含みます。

ア 収入

(消費税込み)

事業会計名	18年度要求額 (A)	17年度要求額 (B)	(A)/(B)	17年度当初予算額 (C)	(A)/(C)
電 気	36億6,356万4千円	38億5,997万9千円	94.9%	38億5,612万1千円	95.0%
水 道	54億6,043万1千円	54億4,877万5千円	100.2%	54億4,877万5千円	100.2%
観光施設	35万 円	43万5千円	80.5%	35万 円	100.0%
計	91億2,434万5千円	93億 918万9千円	98.0%	93億 524万6千円	94.1%

イ 支出

(消費税込み)

事業会計名	18年度要求額 (A)	17年度要求額 (B)	(A)/(B)	17年度当初予算額 (C)	(A)/(C)
電 気	34億9,539万 円	35億8,552万1千円	97.5%	35億3,421万8千円	98.9%
水 道	47億4,270万3千円	46億9,455万6千円	101.0%	47億 198万9千円	100.9%
観光施設	3,147万9千円	8億8,731万8千円	3.5%	9億 231万8千円	3.5%
計	82億6,957万2千円	91億6,739万5千円	90.2%	91億3,852万5千円	90.5%

(2) 資本的収支

資本的収支は、主に設備投資に係る収入及び支出を表します。
 収入が支出に対し不足する額は、内部留保資金(収益的支出の減価償却費等の現金支出を伴わない支出)、減債積立金等で補てんされます。
 なお、観光施設事業では、資本的収支は予定していません。

ア 収入

(消費税込み)

事業会計名	18年度要求額 (A)	17年度要求額 (B)	(A)/(B)	17年度当初予算額 (C)	(A)/(C)
電 気	1,107万2千円	281万8千円	392.9%	281万8千円	392.9%
水 道	22億5,234万 円	14億 269万6千円	160.6%	14億 269万6千円	160.6%
計	22億6,341万2千円	14億 551万4千円	161.0%	14億 551万4千円	161.0%

イ 支出

(消費税込み)

事業会計名	18年度要求額 (A)	17年度要求額 (B)	(A)/(B)	17年度当初予算額 (C)	(A)/(C)
電 気	14億6,839万6千円	15億 893万5千円	97.3%	15億 893万5千円	97.3%
水 道	50億3,401万5千円	39億2,665万5千円	128.2%	39億2,646万9千円	128.2%
計	65億 241万1千円	54億3,559万 円	119.6%	54億3,540万4千円	119.6%

(3) 損 益

(消費税抜き)

事業会計名	18年度要求額 (A)	17年度要求額 (B)	(A)/(B)	17年度当初予算額 (C)	(A)/(C)
電 気	1億5,476万 円	2億5,817万1千円	59.9%	3億 561万6千円	50.6%
水 道	6億 200万7千円	6億8,617万7千円	87.7%	6億7,875万3千円	88.7%
観光施設	△ 3,112万9千円	△ 8億8,688万3千円	-	△ 9億 196万8千円	-
計	7億2,563万8千円	5,746万5千円	1262.7%	8,240万1千円	880.6%

2 要求の考え方(総括)

(1) 要求の考え方

収入については、収益的収入の約9割を占める料金収入について、業務の予定量を厳格に見積もることにより、的確な収入見込みを行いました。資本的収入においても、建設改良工事等の財源となる企業債(借入金)について、収支計画を考慮し必要額を見積もりました。
また、支出については、経費の節減合理化を図るとともに、建設改良工事については効率的な投資を行うよう配慮し必要額を見積もりました。

(2) ゼロベース予算に対する取組

安定供給と安全性の確保を図るために必要な事業を見直し、顧客の視点に立って、より効果的、効率的な投資を行うよう配慮し必要額を見積もりました。

3 事業別概要

【電気事業】

・既設発電所の施設改良及び修繕工事を計画的に実施し、電力の安定供給に努めます。

	業 務 量		主 な 建 設 改 良 工 事
	平成18年度要求	平成17年度当初	
発 電 所	14所	14所	○ 水力発電整備費 2億8,158万3千円 ・春近発電所 発電機固定子取替工事 ・小浜第2発電所配電盤取替工事
最大出力	9万9,050kW	9万9,050kW	
電 力 量	3億9,876万7千kWh	4億 184万2千kWh	
料 金	35億5,624万2千円	37億3,970万9千円	
建設改良費	2億8,153万3千円	3億4,331万3千円	
企 業 債	—	—	

【水道事業】

(末端給水事業)

- ・ 送水・配水施設等の整備を進めるとともに、地震・事故に強い施設とするため、老朽施設等を更新し、安定給水の確保に努めます。

(用水供給事業)

- ・ 浄水施設等の整備を図り、安定供給の確保に努めます。

	業 務 量		主 な 建 設 改 良 工 事
	平成18年度要求	平成17年度当初	
末端給水			
給水戸数	6万8,620戸	6万8,180戸	○ 水道事業改良費 30億3,351万円
給水量	1,897万2千m ³	1,894万m ³	・ 施設拡張 篠ノ井調整池築造工事等
料金	34億207万7千円	34億206万5千円	・ 送配水管布設替 (延長33.5km)
建設改良費	30億4,661万1千円	18億9,300万3千円	うち老朽管更新対策 (延長13.0km)
企業債	14億7,000万円	6億円	○ 業務設備整備費 1,315万1千円
用水供給			
供給区域	松本市・塩尻市	松本市・塩尻市	○ 水道事業改良費 2億5,090万8千円
供給量	2,956万5千m ³	2,956万5千m ³	・ 情報処理装置取替工事
料金	17億4,344万8千円	17億4,344万8千円	・ 排水池増設工事
建設改良費	2億5,267万円	2億4,870万3千円	○ 業務設備整備費 176万2千円
企業債	5,000万円	2億2,000万円	

【観光施設事業】

観光施設事業会計は、平成14年度で事業を終了しているため業務量等はありません。